

令和7年度第1回鹿沼市使用料手数料等審議会

報告日：令和7年7月9日

名 称	令和7年度第1回鹿沼市使用料手数料等審議会		
日 時	令和7年7月9日（水）10時00分～10時50分		
場 所	本庁2階 第2委員会室		
出 席 者	委員：山賀、柴田、横尾、野沢、山崎、小林、田谷、岩本、山中、小太刀、橋本		
	事務局：秋澤総合政策部長、 財政課半田課長、野口課長補佐、鈴木主査、篠原主任主事		
	担当部局 行政経営部：行政経営課綱課長、高橋行政改革担当		
	市民部：関口部長、協働のまちづくり課山崎課長、寺崎係長、小野主事		
	経済部：竹澤部長、観光交流課大貫課長、横瀬係長		
	教育委員会事務局：佐藤次長、生涯学習課中村課長、湯澤係長、池田主任主事		
内容及び結果等	1 開会：半田課長 ・15名中11名の委員の出席により、会議成立		
	2 市長挨拶：松井市長		
	3 新委員紹介(1名)：半田課長 ・出席：田谷委員		
	4 審議会への諮問 ・松井市長より山賀会長へ「5審議事項」4件について諮問		
	5 審議事項		
	(1) コミュニティセンター使用料（改定）※説明：山崎課長 ・原案どおり可決（質疑応答は別紙のとおり）		
	(2) 情報センター及び文化活動交流館使用料（改定）※説明：中村課長 ・原案どおり可決（質疑応答は別紙のとおり）		
	(3) 前日光つつじの湯交流館専用使用料（改定）※説明：大貫課長 ・原案どおり可決（質疑応答は別紙のとおり）		
(4) 前日光ハイランドロッジ専用使用料（改定）※説明：大貫課長 ・原案どおり可決（質疑応答は別紙のとおり）			
6 審議会からの答申 ・山賀会長より松井市長へ4件の使用料について、「適正」と答申			
7 閉会：半田課長			以上
配布資料	令和7年度第1回鹿沼市使用料手数料等審議会 資料		
次回予定	令和7年10月2日（木）10：00		
記 録 者	財政課 鈴木主査		
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)			
公開・非公開の別	公 開	非公開	(公開の場合) 傍聴人数 0 人

質疑応答記録

5 審議事項

(1) コミュニティセンター等使用料 (改定)

(2) 情報センター及び文化活動交流館使用料 (改定)

岩本委員：営利目的での利用について、使用料を3倍にすることだが、もっと高くしてもよいのではないか。また、情報センターについては利用率が高いと聞いており、これまでの利用者が利用しにくくなることはないか。

山崎課長：改定案については、施設の維持管理等に係る原価を計算の上算出しているため、適正と考えている。また、ガイドラインを作成し、これまでの利用者が利用しにくくなるということがないよう運用したい。

中村課長：情報センターの稼働率については部屋により差がある状況であるが、全体としてはそれほど高くない状況。こちらもガイドラインを作成し、これまでの利用者が利用しにくくなるということがないよう運用したい。

横尾委員：各施設の利用実績や、使用料の他市との比較を教えてほしい。

山崎課長：令和6年度についてはコミュニティセンター全体で206,855人である。日光市ではコミュニティセンターの会議室使用料が830円（午前・午後・夜間の単位）のところもあると聞いている。

小林委員：自治会ではよく施設を利用させてもらっている。これまでと同様の利用ができ、時代に合わせた見直しを行うということで、妥当な改定だと思う。

(3) 前日光つつじの湯交流館専用使用料 (改定)

(4) 前日光ハイランドロッジ用使用料 (改定)

横尾委員：①各施設の利用実績、②施設更新予定の有無、③運営事業者撤退の理由、④新たな事業者募集の基準を教えてほしい。

大貫課長：①前日光つつじの湯交流館の利用者数がR6：44,828人、R5：44,322人、R4：46,396人、R3：28,578人である。また、前日光ハイランドロッジの来場者数がR6：59,712人、R5：59,717人、R4：59,803人、R3：59,735人、R2：55,177人である。

- ②各施設とも大規模な改修については未定である。
- ③いずれも売り上げが伸び悩んでいたことが理由と考えられる。
- ④今回の使用料見直しを含め、広く公募したいと考えている。

横尾委員：市外の利用者が多いのか。

大貫課長：利用者の個人情報を収集していないため、統計的なデータはないが、前日光つつじの湯交流館は週末を中心に首都圏の利用者が多く、前日光ハイランドロッジは多くが市外の利用者である。

野沢委員：利用者数に変動が少ないが、リピーターの利用が多いのか。

大貫課長：そのとおりである。

岩本委員：今までの使用料収入はいくらくらいになるのか。

大貫課長：前日光つつじの湯交流館は年間約 50 万円、前日光ハイランドロッジが年間約 20 万円である。

岩本委員：使用料の減免等、事業者の参入を促す考えはないか。

大貫課長：ご意見として受け止める。なお、現在トライアル・サウンディング制度で事業者を公募しており、6 カ月間まで無料で営業が可能である。

以上